



祭りでは神事のあとに拝殿前の仮設舞台上で神舞が奉納されます。かつて33段の演目があったといわれています。

志布志市志布町田之浦では、毎年2月の第一日曜に、大隅にいち早く春を告げる「ダゴ祭り」が開催されます。平成3年に県の無形民俗文化財に指定されたダゴ祭りは、その年の豊年を祈願する田之浦山宮神社の例祭で、色鮮やかな米粉の飾り餅を花のようにあしらった「ダゴ花(団子)」が奉納されるのが特長です。孟宗竹のてっぺんに荒縄を巻き、300本以上の割り竹に刺すカラフルな飾り餅は、氏子集落から持ち寄るのが習わしとされています。



神社に奉納された、30センチメートルほどの串に刺したダゴ花の団子を食べると、一年中無病息災で過ごすことができると言われています。

れる神舞のうち、現在は25段を復活。笛、太鼓、鉦のお囃子に合わせた「彦舞」「青鬼神舞」「田の神舞」などが披露されます。明治の作ともいわれる貴重な面や舞衣をまとった舞人たちの姿は、演目により時にはユーモラスでもあり、時には神々しくも感じられます。神舞が終わると竹串に刺したダゴ花(団子)が振る舞われ、焼かずに食べたり床の間に飾ったりと、参加者は縁起のいい飾り餅を先を争って持ち帰ります。

## 郷里に春到来を告げる 豊年祈願の例祭

残したたい能  
伝統芸能



第5回



【志布志市】

# 田之浦山宮神社 ダゴ祭り

県指定無形民俗文化財

その年の豊作を祈る  
県内で一番早い  
志布志市の春祭りを  
ご紹介します。

## 田之浦山宮神社

開催日： 2月第1日曜日(平成30年は2月4日)  
住 所： 志布志市 田之浦山宮神社の境内  
交 通： JR日南線志布志駅から車で約25分  
駐車場： 無料(100台)  
TEL： 099-474-1111  
志布志市役所教育委員会

